

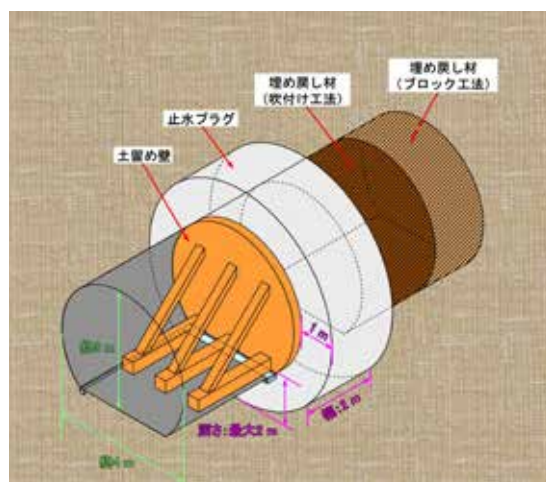
さらに、坑道掘削に伴う湧水量の観測を行い、これまでの解析で予測した湧水量と比較し、湧水量が予測された範囲内に収まるかどうかを確認します。

令和4年度から実施している「幌延国際共同プロジェクト」については、令和7年度から、フェーズ2の研究に着手し、設定した3つのタスク（タスクA：物質移行試験、タスクB：処分技術の実証と体系化、タスクC：実規模の人工バリアシステム解体試験）に取り組めます。

【地下施設の整備】

令和5年度から、深度500mに向けた掘削を再開し、令和6年度には東立坑と換気立坑が深度500mに到達しました。また、深度500mで東立坑と換気立坑を結ぶ調査坑道が令和7年2月18日に貫通しました。

令和7年度は引き続き、西立坑および500m調査坑道の掘削を継続し、令和7年度末までに施設の整備を完了する予定です。



【原位置試験のイメージ（深度 350m）】



【500m 調査坑道の貫通】



【地下施設模型】

【ゆめ地創館最新NEWS】

ゆめ地創館に、4月から新たな地下施設模型を設置しました。

この模型は、坑道掘削や調査研究で確認できた「岩盤の割れ目」をLEDで坑道に投影できたり、QRコードを読み込むと地下施設の坑道の中を360度見回すことができたりします。さらに、立坑最深部に設置している「スcaffolding」と呼ばれる移動式足場や、「切りはきり」^{きり}と呼ばれる掘削作業の最前線も見られます！！

ぜひ、ゆめ地創館へ来館いただき、従来から設置している地下施設のリアルタイムモニタと併せて、地下の世界をご覧ください。